

# 伊平屋村人口ビジョン2050 (説明用)

2024年12月

伊平屋村産業経済活性化協議会

# 伊平屋村産業経済活性化協議会について

## (1) 設置趣旨

村の主要産業である「農水産業」「商工業」「観光関連産業」の代表者等による産業活性化に向けた幅広い議論を通じ、情報の共有はもとより、業種横断的な連携の促進、地域が抱える課題等の解決を図り、民間主導経済の構築による本村の内発的・持続的な発展を目指すもの

(設置根拠)

- 第5次 伊平屋村総合計画

3 里山・里海を活用した産業が息づく島 (施策1) 村内産業の活性化に向けた仕組みづくり

「伊平屋村産業経済活性化協議会」(仮称)の設置

村、JA、漁協、商工会、観光協会等関係団体の連携で「伊平屋村産業経済活性化協議会」(仮称)を設置し、村外の人材や関係団体等とのネットワークを構築します。それによって本村の産業経済における課題を抽出して、それら課題を解決して村内産業の活性化を推進します。

## (2) 委員

(会長) **林 優子** 名桜大学副学長(地域創生担当)

(副会長) **宮城 普巳嗣** 伊平屋村商工会長

(委員) **安里 充** 伊平屋島観光協会長

**佐久川 兼友** JAおきなわ伊平屋支店長

**新垣 雅士** 伊平屋村漁業協同組合代表理事組合長

**仲川 克子** Café はるま〜い代表

**嘉納 雅代** ホテルにしえ代表

**津田 真樹子** 松金ホテル社員

**真栄田 孝** 沖縄県商工会青年部連合会会長

**金城 正人** 伊平屋村商工会青年部長

**石原 修** 生活協同組合コープおきなわ理事長スタッフ

**宮里 尚** (株) みらいおきなわ代表取締役社長

**名嘉 律夫** 伊平屋村長

# 伊平屋村 人口ビジョン2050

## I はじめに 今なぜ「伊平屋村 人口ビジョン2050」を決議するのか？

- (1) 人口は半減、生産年齢人口と高齢者人口がほぼ同数に
- (2) 発表される度に下方修正される将来推計人口
- (3) これまでの対応に欠けていたこと
- (4) 戦略的な人口ビジョンでこれまでの遅れを取り戻そう

## II 伊平屋村の人口変動等

- (1) 自然増減と社会増減
- (2) 出生率の推移
- (3) UIJターン

## III 基本的な考え方

- (1) 地域の将来は「自らの手で切り拓く」という「気概」
- (2) 若者と女性が暮らしやすい島
- (3) 豊かな暮らしの継承と将来世代への責任
- (4) 文化度を高めよう

## IV 取り組むべき人口戦略

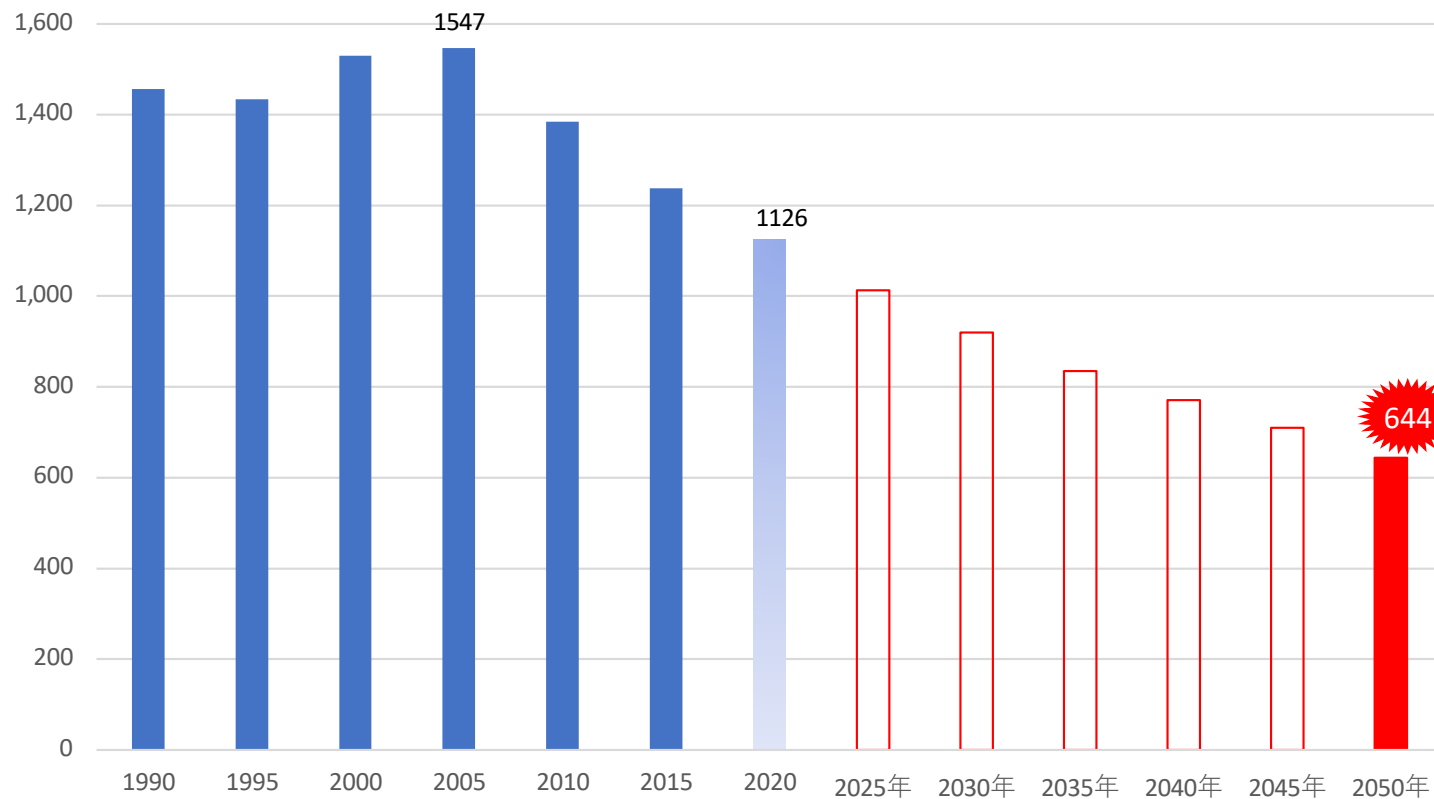
- (1) 定常化戦略と強靱化戦略
- (2) 定常化戦略における施策
- (3) 強靱化戦略における施策

## V 終わりに 戦略の推進に向けて

- (1) 住民意識の醸成
- (2) クール(=おしゃれでカッコよく)で、エシカル(=自分にも、売る人にも、地域社会にも優しい)な行動で、3  
ウェルビーイング(=笑や~笑や~して暮らすこと)に暮らそう

# 今なぜ「伊平屋村 人口ビジョン2050」を決議するのか？

## 伊平屋村の人口の推移



出所：国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

# 今なぜ「伊平屋村 人口ビジョン2050」を決議するのか？

就業の状況

区 分	人 口		
	2020国調		2050推計
総人口	1126	→	644
15歳未満人口 (総人口に占める比率)	195 (17.3%)	→	70 (10.9%)
15-64歳人口 (総人口に占める比率)	598 (53.1%)	→	286 (44.4%)
65歳以上人口 (総人口に占める比率)	333 (29.6%)	→	288 (44.7%)
15歳以上人口	931	→	574
労働力人口	672		414 ?
労働力率 (%)	72.2	沖縄県 64.7% 全国 62.9%	
非労働力人口	259		
15歳以上就業者数	646	→	?

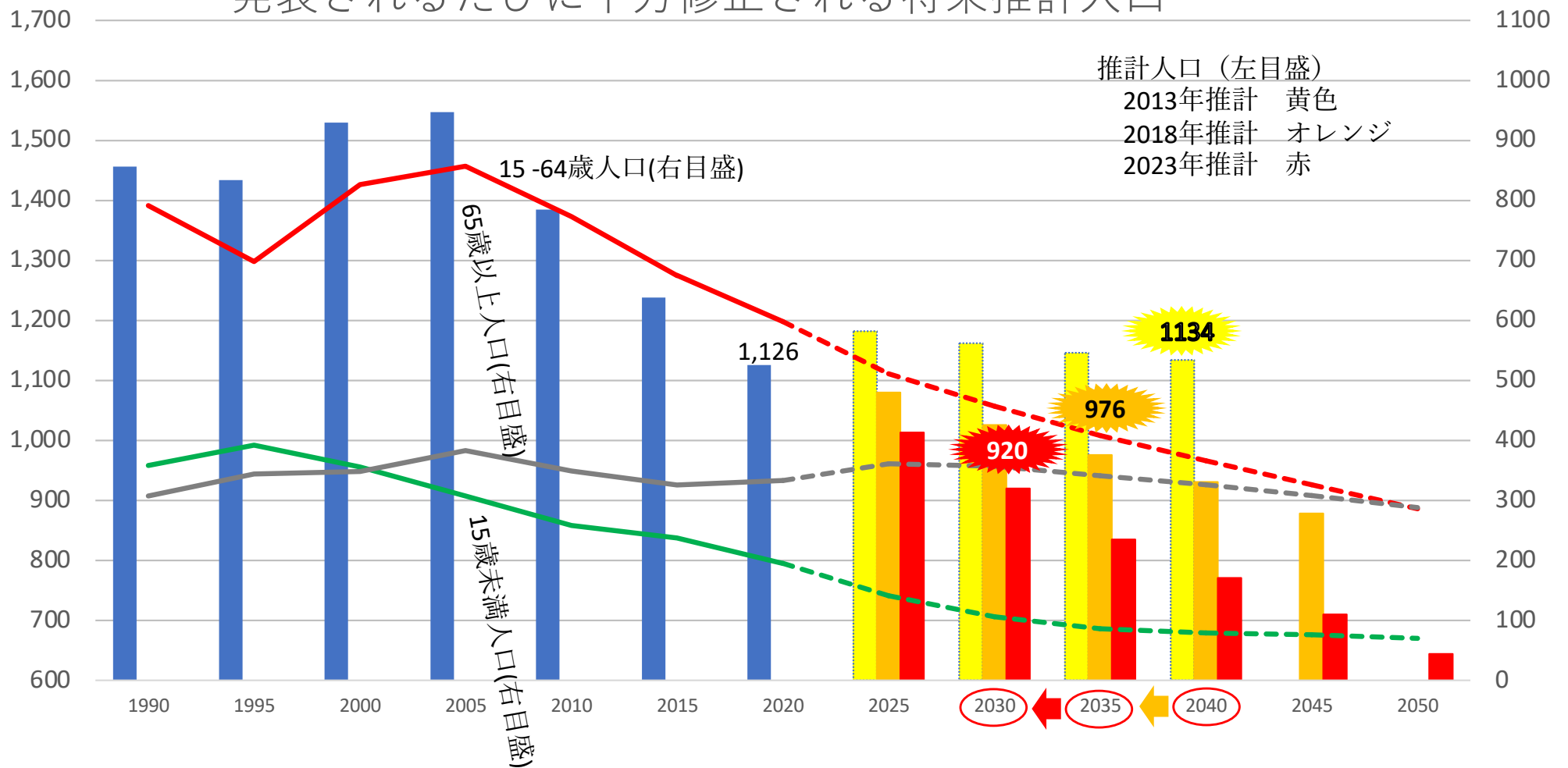
産業別就業者数

業 種	就業人口
	2020国調
15歳以上就業者数	646
農業	88
漁業	41
建設業	103
製造業	34
運輸・郵便業	21
卸売・小売業	38
不動産・物品賃貸業	7
宿泊・飲食サービス業	58
教育、学習支援業	51
医療・福祉	57
複合サービス	30
サービス業 (他の分類に属さないもの)	27
公務	83
その他	5 8

労働力人口：15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者の合計  
 非労働力人口：専業主婦、高齢者、ケガ・病気で働けない人、学生等  
 労働力率：伊平屋村男性 81.5% (沖縄県 72.3%、全国 72.4%)  
 伊平屋村女性 60.8% (沖縄県 57.5%、全国 54.2%)

# 今なぜ「伊平屋村 人口ビジョン2050」を決議するのか？

## 発表されるたびに下方修正される将来推計人口



- 国立社会保障人口問題研究所（社人研）が発表した伊平屋村の将来推計人口（過去3回）

2013年推計 2040年でも人口1100人以上



2018年推計 2035年までに人口千人割れ



2023年推計 2030年までに人口千人割れ



## これまでの取組

- 2016年(H28)年 3 月

「人口の維持と生産年齢人口の流入促進という視座」から  
伊平屋村人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略  
～生きる幸せが実感できる島～ を策定



人口減少に歯止めかからないばかりか、人口減少が加速



これまでの取組は、力不足

**何が足りなかったのか？**

## これまでの対応に欠けていたこと (仮説)

### (1) 「危機意識」「当事者意識」の欠如がなかったか

- 役場 → 「自分は担当じゃない」「(最終的には)国や県がなんとかしてくれる」
- 住民 → 「役場が考えるべき問題」「難しい・分からない」

### (2) 女性や若者が暮らしやすい島を意識的には追求してこなかったのではないか

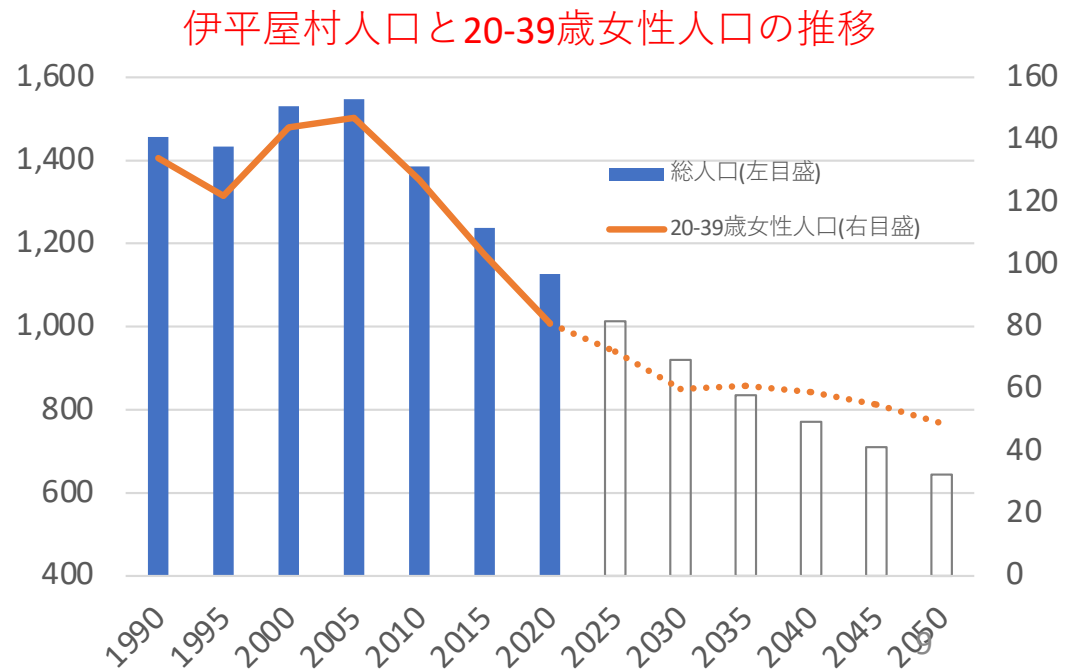
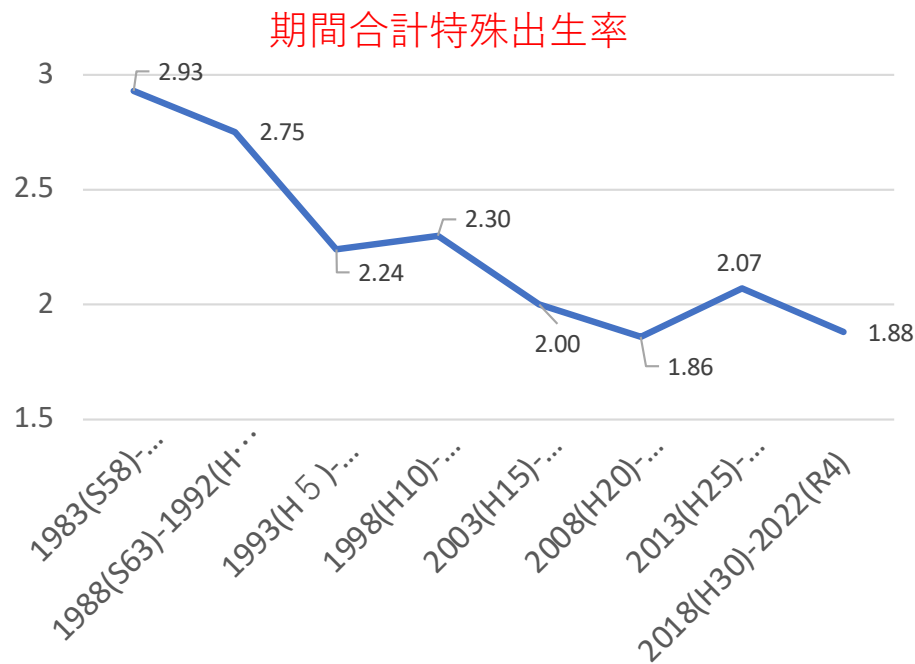
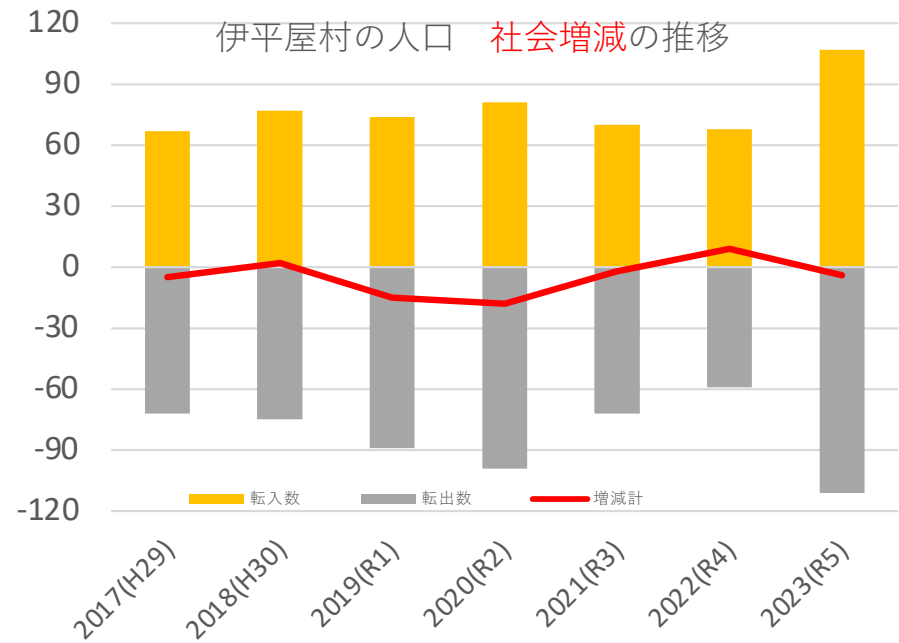
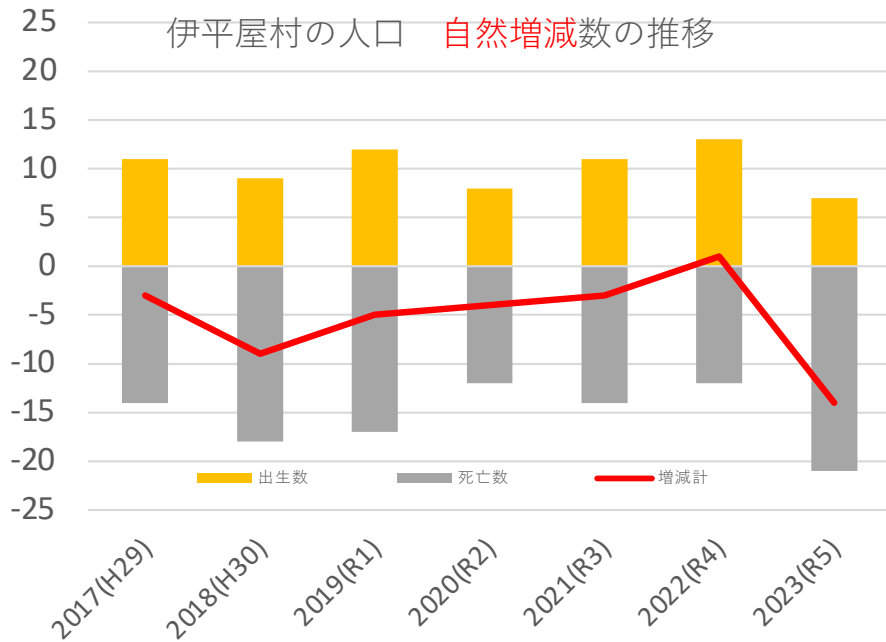
- 女性や若者の声を政策に反映する努力が不十分だったのではないか
- 地域社会に根強く残る年功序列や男性優位な社会風習等を変えるべく「小さなカイゼン」の努力を重ねてきたか

### (3) 豊かな暮らしの継承と将来世代への責任

- 先人が築いた社会基盤の上に安住していないか
- 子や孫が今よりもさらに豊かな暮らしを営めるようにこの島の暮らしの基盤を磨いているか

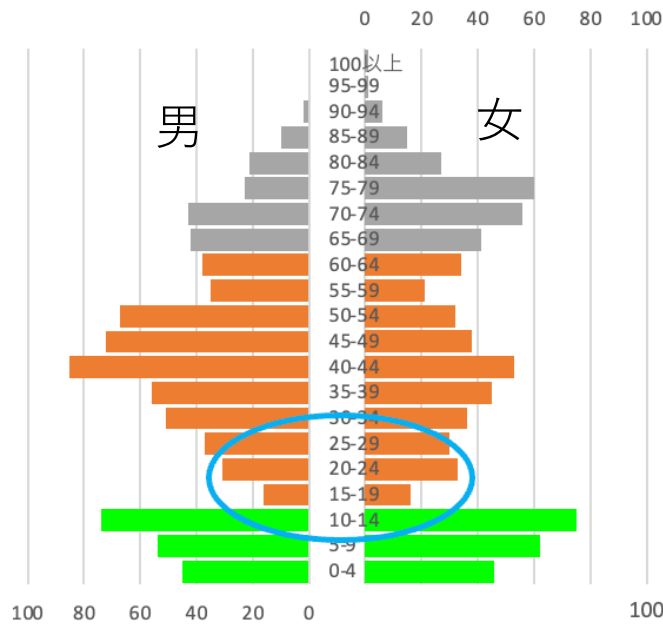


# 伊平屋村の人口変動等 ①

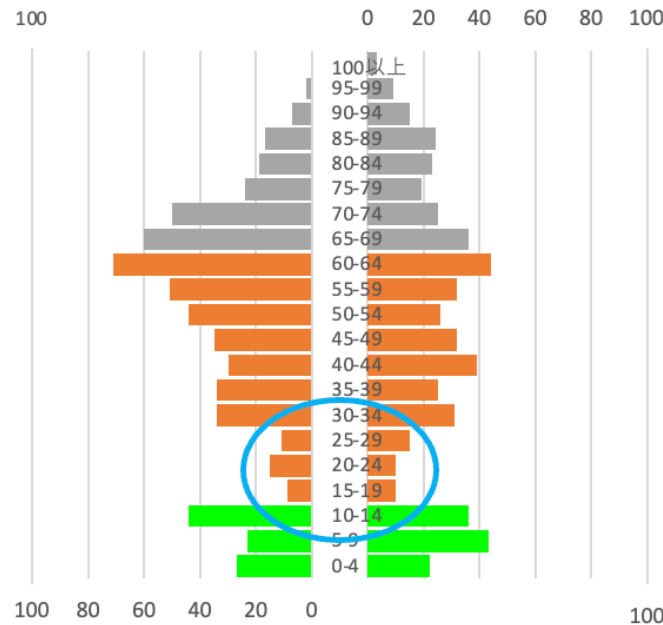


# 伊平屋村の人口変動等 ② 人口ピラミッド

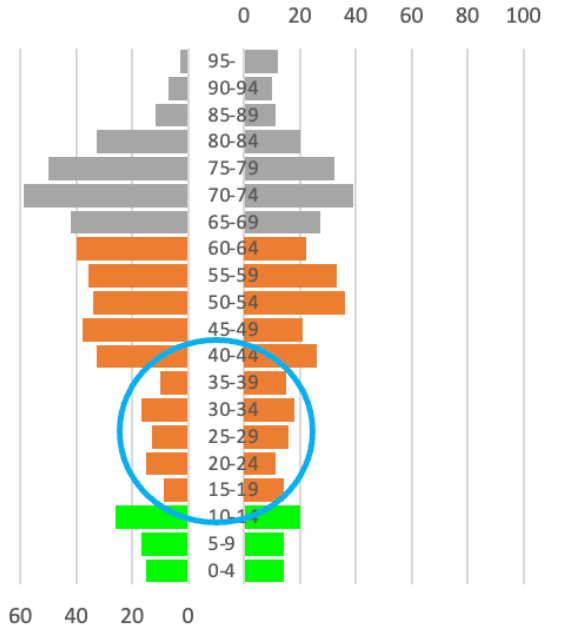
2000年



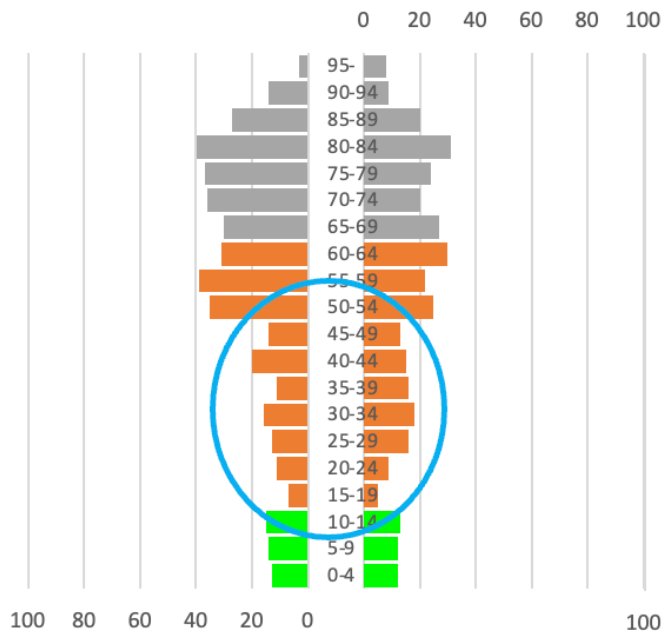
2020年



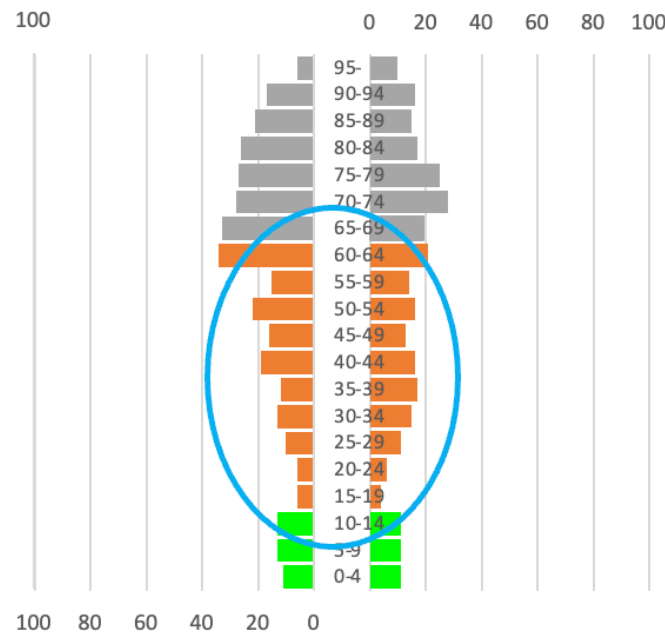
2030年



2040年



2050年



## 基本的な考え方

- (1) 地域の将来は「自らの手で切り拓く」という「気概」を持つとう
- (2) 若者と女性が暮らしやすい島を築いていこう
- (3) 豊かな暮らしの継承と将来世代への責任を自覚しよう
- (4) 文化度を高めよう

人口減少を食い止める最良の方策は

「この島の文化度を高めること」

先人から引き継いだ暮らしの豊かさ、文化度の高さに磨きをかけよう



「文化度を高める」って？

ここに言う「文化」とは、伝統文化、芸術・文学、デザインなどはもちろん

- 住民同士のつながり、支え合い（相互の協力関係）
- 祖先や自然を恐れ敬う風俗・習慣
- 自然と融和したゆったりとした暮らしぶり、心のゆとり
- 意欲と能力のある者が活躍でき、そういう者を皆で応援する風土

などを指します。これらは目に見えないもの、日常の暮らしに埋もれているものであることが多く、なかなか価値を見出しにくいのですが、こうした文化こそ、この島そのものであり、これらを磨き上げることが「文化度を高める」ことだと考えます。

# 取り組むべき人口戦略

## (1) 定常化戦略

人口減少のスピードを緩やかにし、最終的に人口を安定させることを目標とする戦略

## (2) 強靱化戦略

質的な強靱化（きょうじんか = 強くてしなやかな状態）を図り、現在より小さい人口規模であっても多様性に富んだ成長力のある社会を構築する戦略

# 定常化戦略

ポイント：若者と女性が暮らしやすい島の実現

具体的施策

(1) 第5次伊平屋村総合計画

- 女性が暮らしやすい島づくりの推進
- 安心して子どもを産み育てることができる環境の整備
- 女性が輝き、若者が活躍する島づくり
- 生活環境・住宅の整備



「戦略的」に推進

「戦略的に推進」って？

- ① 施策の目的、効果等を全庁的に議論、共有し、② 村民と協働しつつ、③ 最小のコストで最大の効果が得られるように施策を実行する

(2) 名桜大学との連携の強化

「よそ者・若者・馬鹿者」の視点で社会構造改革を 14

# 強靱化戦略 ①

ポイント：**生産性の向上（効率よく稼ぐ）**

具体的施策

## (1) 第5次伊平屋村総合計画

- 農林水産業の事業化の推進
- 農林水産業の新たな担い手の確保と先進化
- 環境共生型農林水産業の推進（後述）
- 体験・交流型観光コンテンツの充実による観光交流産業の振興
- 島のランドデザインにふさわしい観光の促進（後述）
- 離島らしい環境に配慮した観光インフラの整備

etc



**「戦略的」に推進**

## 強靱化戦略 ②

ポイント：**生産性の向上（効率よく稼ぐ）**

### (2) 「ヒト」への投資

#### ① 名桜大学との連携強化

- 名桜大学に集積する「知識・情報」「ノウハウ」を活用した事業者の生産性の向上（例：デザイン戦略等知的財産権の活用）
- 持続的な地域づくり人材育成

#### ② 高等教育機関の誘致

- (少数とはいえ)学生の居住による島の活性化
- 島内事業者との連携によるビジネスの高度化
- 次代を担う子どもたちの学びへの興味・関心を高める



## 強靱化戦略 ③

ポイント：**生産性の向上（効率よく稼ぐ）**

### (3) 「技術」の導入

- ① 商工会等との連携による国・県の各種補助金の活用支援
- ② 伊平屋村産業振興総合推進対策資金貸付の戦略的活用
- ③ 持続可能な農業の実現（有機農業へ舵を切る）
  - ・ 環境共生型農林水産業の推進（5次総計）
  - ・ 農林水産省「みどりの食料システム戦略」→有機農業の拡大
  - ・ 田名池再生事業など村内の環境意識の高まり
- ④ 世界最高水準で海洋環境保全に取り組む島に向けた取組
  - ・ サンゴビジネス企業の誘致
  - ・ 「海洋環境保全に取り組む島」を全世界にアピール
  - ・ SDGsに関心の高い企業の投資の呼び水効果
  - ・ 島の水産、観光事業者との連携による事業高度化
  - ・ 次代を担う子どもたちへの環境教育

## 強靱化戦略 ③

ポイント：**生産性の向上（効率よく稼ぐ）**

### (4) 「カネ」

#### ① 村内でお金が回る仕組みの構築

- 域内循環の拡大向上

5次総計「地産地消の促進」

#### ② 地域で回るお金の量を増やす

- 外貨の獲得 → 観光誘客の強化

5次総計「島のグランドデザインにふさわしい観光の促進」

### 観光誘客

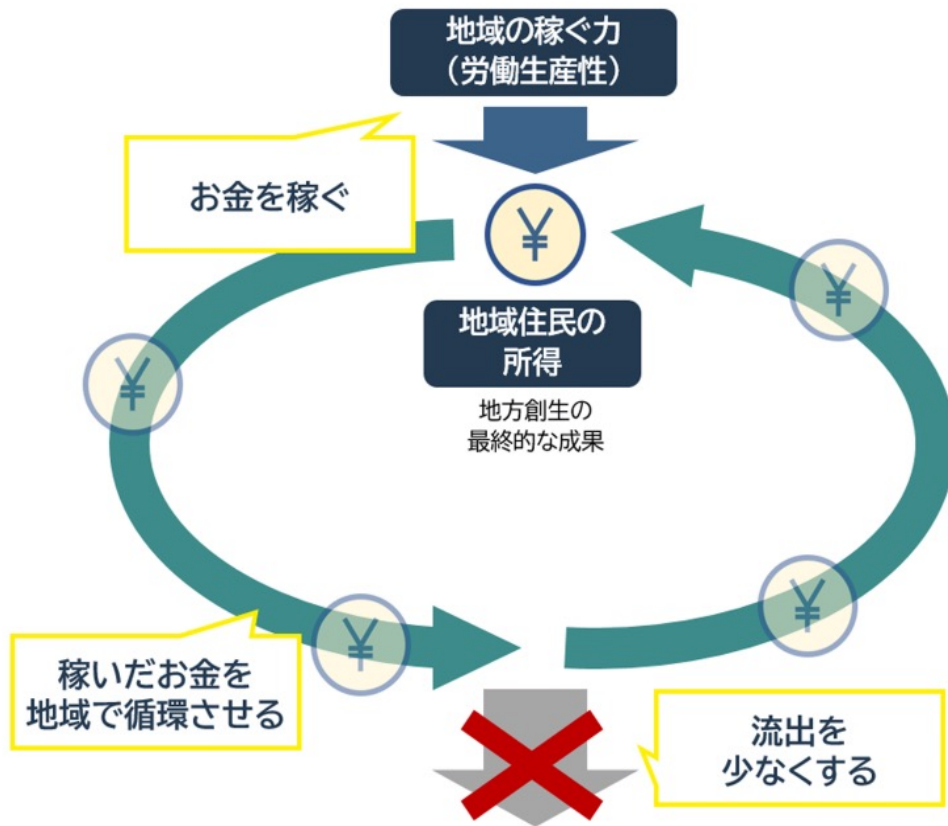
“ハコモノ（ハード）ではなく、文化（ソフト）で誘客”

- 伊平屋村の文化度を高める
- ウェルビーイングを高める
- 発信力の強化

# 強靱化戦略 ④

## 域内循環

「地域を強く」するための2つのポイント



### POINT 1

地域でお金を循環させること

お金の地域の外への流出を抑制し、  
地域内で循環する仕組みをすること

### POINT 2

地域でお金を稼ぐ力を強くすること

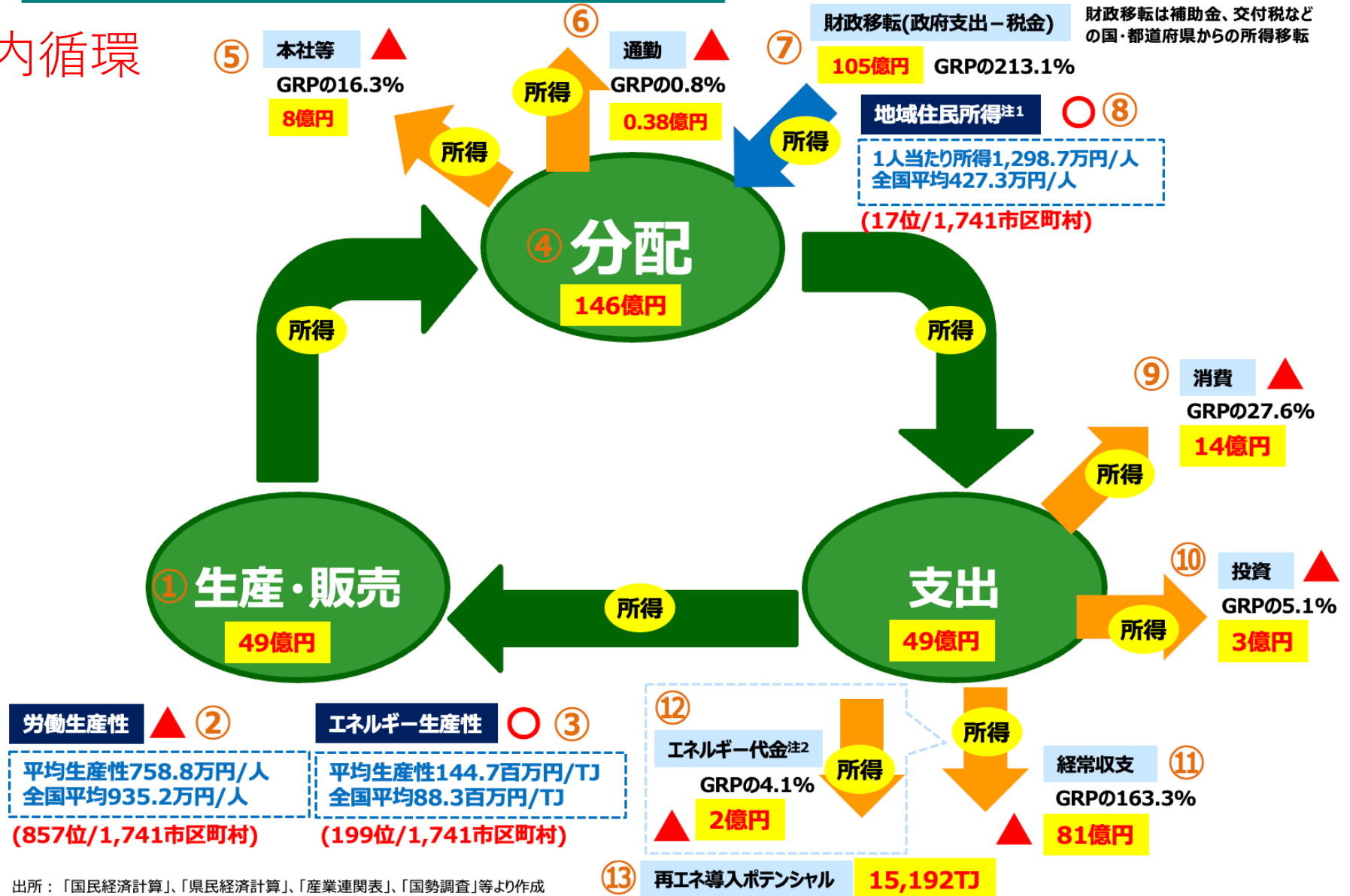
豊かな経済循環構造のために、  
地域内で効果的に稼ぐ産業を育てること

# 強靱化戦略 ⑤

## 地域の所得循環構造

(2020年)

### 域内循環



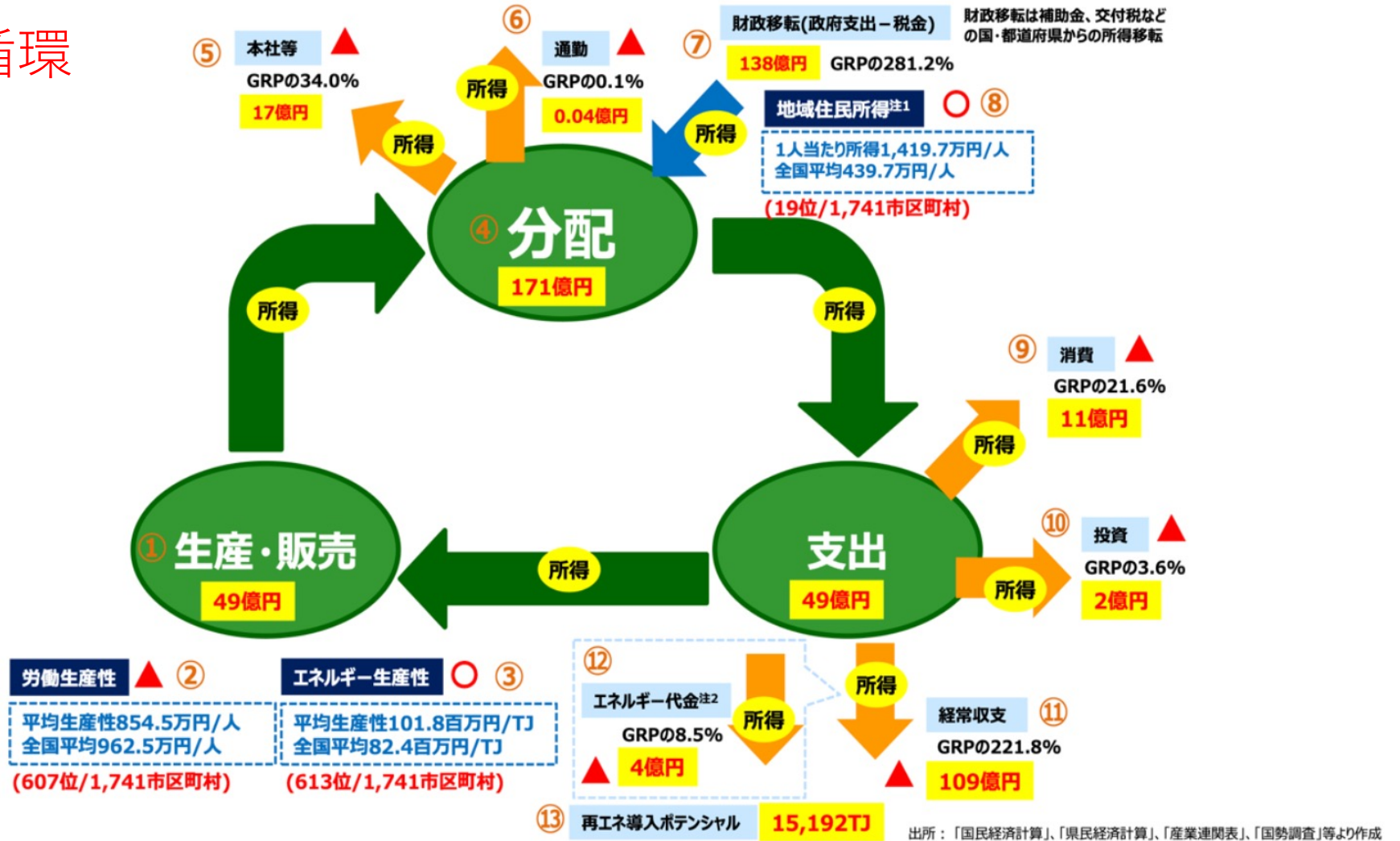
出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「産業連関表」、「国勢調査」等より作成

# 強靱化戦略 ⑥

## 地域の所得循環構造【伊平屋村】（2018年）

（図4）

### 域内循環

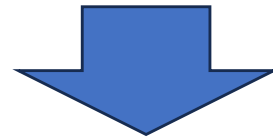


# 終わりに 戦略の推進に向けて

- 住民意識の醸成

- 市民性（シチズンシップ）を有した住民の創造

総計：住民を単に行政サービスの提供を受ける客体ではなく、主体的に地方行政に参画していく存在として捉えていく



- エシカル → 地域社会などに良い効果をもたらす買い物行動等  
（より良い社会の創設に向け、人や社会、環境等に配慮した消費行動やライフスタイル[生活様式]）
    - クール → おしゃれな生活、かっこいい暮らしぶり  
（おしゃれでかっこいいライフスタイルを追い求めること）
    - ウェルビーイング → 笑や～笑や～して暮らしている状態  
（身体的にも、精神的にも、社会的にも満たされた状態）

# (参考1) 定常化戦略 具体的な施策 (主なもの)

「※」は人口ビジョン提言施策

	基本施策	取組み施策	
第 5 次 計 画	基本目標2 女性と子どもが大切にされ、すべての住民が安心して暮らす島		
	女性がくらしやすい島づくりの推進	ジェンダー平等の実現	
		次世代・女性活躍支援室(仮称)の設置	
	安心して子どもを産み育てることができる環境の整備	離島保育士確保対策事業の推進	
		多様なニーズに対応した保育サービスの確保	
		移住定住へ繋げるための祝い金制度の維持と婚活支援	
		地域の子育て・子育て環境の整備	
	基本目標4 安全安心・快適な暮らしを支えるしまづくり		
	住宅の整備	村営住宅の整備	
		利用見込みのない空き家の有効活用に向けた制度の検討	
既存住宅の維持・活用			
新規住宅の整備			
住宅地確保のための寄付誘発制度の検討			
基本目標6 共創・協働のむらづくり			
女性が輝き、若者が活躍するしまづくり	女性が輝く島をつくる「女性サロン」(仮称)の設置		
	地域のリーダーを育成する「若者未来会議」(仮称)の設置		
誰一人取り残さない持続可能な美ら島いへやの実現	多様性のあるむらづくり		
先進技術の導入によるむらづくり	先進技術の導入で夢のある島を創造する		
※	名桜大学との連携の強化	若者目線で社会構造改革を	

# (参考2) 強靱化戦略 5次総計に掲げる具体的な施策（主なもの）①

	基本施策	取組み施策	
5 次 総 合 計 画	基本目標3 里山・里海を活用した産業が息づく島		
	村内産業の活性化に向けた仕組みづくり	各種協同組合等新たな制度の導入	
		産業連携拠点センターのインキュベーション施設としての機能強化	
		起業活動し易い環境づくり	
	農林水産業の事業化の推進	事業化・法人化による基幹作目の生産の拡大	
		つくり育てる漁業の振興	
		里山・里海の商品を活用した加工製造業の振興とマーケティングの強化	
	農林水産業の新たな担い手の確保と先進化	地産地消の促進	
		漁協等水産団体の人材育成の促進	
		農林水産業への先端的技術導入の推進と新たな人材の確保	
	環境共生型農林水産業の推進（持続可能な農林水産業の推進）	環境保全型農業の構築に向けた普及啓発	
		消費者ニーズに対応する有機農業の推進	
		林業の復興と林産資源の復活・活用	
		田名グムイを再生・活用する農業振興とむらづくり	
	体験・交流型観光コンテンツの充実による観光交流産業の振興	地域が主体となった着地型体験交流の推進と人材育成	
島の文化の継承と観光活用の推進			
民泊事業の拡充			



# (参考3) 強靱化戦略 5次総計に掲げる具体的な施策（主なもの）②

	基本施策	取組み施策		
5 次 総 計 画		伊是名村、今帰仁村との連携による観光の振興		
	島のグランドデザインにふさわしい観光の促進	地域の持続可能な発展に寄与する適正な観光の実現		
		観光客一人当たりの消費額を高め、域内経済循環の仕組みをつくる		
		地域の食文化の提供と商業・サービス業の利便性の向上		
	離島らしい環境に配慮した観光インフラの整備	ふれあいと経済効果のある宿泊施設の整備		
		島内交通の利便性向上		
		ポートターミナルの機能強化		
		伊平屋村星空保護区の環境整備		
	<b>基本目標5 豊かな自然と歩み続ける島</b>			
	自然環境の保全と活用、そして継承	サンゴ礁の海の認知度向上と保全活動の推進		
	自然環境と調和した農林水産業の推進			
持続可能な循環型社会の構築	クリーンなエネルギーの導入促進			
	地域内エコシステム導入の検討			
美しい景観の形成	「原風景」を活かした地域計画の推進			
	夜空を楽しめる環境の整備			
	行ってみたい、見てみたいと思われる景観づくり			
<b>基本目標6 共創・協働のむらづくり</b>				
先進技術の導入によるむらづくり	先進技術の導入で夢のある島を創造する			
	村のDX推進とオープンデータの公開			

## (参考4) 強靱化戦略 人口ビジョン2050に掲げる具体的な施策（主なもの）

基本施策	取組み施策等
人への投資	
名桜大学との連携の強化	同大学が有する知見の活用、地域づくり人材の育成等
高等教育機関の誘致	島内事業者とのコラボレーション等、連携の強化
技術の導入等	
商工会との連携の強化	国、県の各種助成金の積極活用
持続可能な農業の実現（再掲）	有機農業の拡大
海洋環境保全（再掲）	サンゴビジネス事業者の誘致
「資金」「域内循環拡大」	
伊平屋村産業振興総合推進対策資金貸付の戦略的活用	
観光誘客の強化（再掲）	島の文化度を高めること、魅力的な観光コンテンツの開発、既存商品の磨き上げ、新たな特産品の開発等、ソフト資源による誘客強化
地産地消の促進（再掲）	

## 終わりに 真の協働に向けて

### 5次総計

地域の情報を年間を通して継続的、戦略的に住民へ情報発信して、住民と行政の相互の信頼感を高め、それによって住民の行動変容・・・につなげます。



**シチズンシップ**（社会の構成員としていかに振る舞うか、常に自問自答し、権利と義務を行使する意識）**を有した住民の育成**